



©2009,2011 ビックウエスト / 劇場版マクロスF製作委員会

## ◎パチスロ マクロスフロンティア2

2010年に登場した「パチスロ 超時空要塞マクロス」はボーナス+ART機で、上乗せの見せ方がうまく、瞬発力もあると評価され、長期稼働しました。その後継機である「パチスロ マクロスフロンティア2」は純増約2.4枚/GのARTと4種類の擬似ボーナスで出玉を増やすART特化機。前作同様、原作の世界観を演出に生かしたゲーム性を解説したいと思います。

1セット40G+αのART「バルキリータイム」(純増約2.4枚)と、4種類の擬似ボーナスを搭載。さらに、ART突入時に始まる「トライアングルチャンス」など、多彩な上乗せ特化ゾーンで盛り上げる。

# 前作以上に多彩なART演出

### ■ ART 突入契機

ARTの突入契機は規定G数消化、レア役、ボーナスなど、さまざま。中でもアツいのが、前作から継承された「メドレーステップアップ」演出です。これは通常時のレア役から突入するショートフリーズ演出で、レバーONでリールが左、もしくは右から順にスロー回転し、それが第3リールまで続けば激アツとなります。

演出的には、第1リール、第2リール、第3リールと進むつど、液晶画面で流れる曲が変化。7がそろえば、ARTに突入します。

### ■ 4種類の擬似ボーナス

擬似ボーナスは4種類。いずれも特定役で抽選されます。

このうち、「BIG BONUS」(30~100G)は、左リールから緑7をそろえる「ランカBB」か、右リールから赤7をそろえる「シェリルBB」かによって、異なる演出が展開。「ランカBB」は告知演出の変化で、期待度を示唆。「シェリルBB」は、銀河の歌姫シェリルが現れ、ART当選をジャッジします。

「REGULAR BONUS」は、30G中に4種類の「超時空トレーディングカード」獲得にチャレンジ。全部そろえると、ART抽選・BB昇格のチャンスが訪れます。

### ■ ART「バルキリータイム」

ARTは1セット40G+αのセット数&ゲーム数上乗せ型。1Gあたりの純増枚数は前作の約1.5枚から約2.4枚にアップしました。ART中は、戦闘機などの機種がどの場所に出現するかによって、ボーナス当選期待度が異なるなどの液晶演出で引きつけます。

### ■ 上乗せ特化ゾーン

ARTの上乗せ特化ゾーンは前作同様、ARTが始まると同時に突入する。「トライアングルチャンス」を搭載。ART突入時に選択されたキャラによって、異なる展開が待っています。

人気急上昇中のアイドル、ランカが選択された場合は1~7G間でモードアップ抽選を行い、8G目に上乗せG数を抽選。100G以上の上乗せが可能です。シェリルが選択された場合は、1~8Gまで毎G上乗せ。同時に、モードアップ抽選も行われ、大量上乗せへの期待感を盛り上げます。銀河歌舞伎界の元女形、アルトが選択された場合は50G固定で、その間にリールが逆回転すれば、0G連を抽選。当選時は50or100Gの上乗せが期待できます(継続率50%)。

さらに、前出の3人全員が選択されるパターンもあり、この場合はマクロスおなじみのプレミアム上乗せ特化

ゾーン「超時空ライブ」(平均上乗せG数は220G)へ突入します。

一方、ART中の上乗せ特化ゾーンは「クライマックスチャレンジ」(1セット10or20G)、「バジュラッシュ」(同10G+α)、「アンタレスモード」(同10G+α)の3種類。

このほか、ART終了時には、直近のART1セット内で消化したG数が、完全復活する演出が発生する場合も…。

全体に、前作同様、原作の世界観をよく生かしています。一見わかりづらそうですが、ボーナスやARTへの突入契機は非常にシンプル。各キャラの個性を生かした特化ゾーンなど、マクロスらしさが継承されており、前作を打っていた方はなじみやすいはず。スペックも、市場のAT機に比べてバランスがいい。

販売予定台数は1万5000~2万台と、市場に登場する機種が少ない中、抑え目です。その点からも長期稼働が期待できる1台です。

### PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)  
株式会社アテイン 代表取締役  
関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は25年以上。現在はホールコンサルタントのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている(詳しくは<http://at-attain.com>参照)。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。